# 皆様のお声を伺い議論を深めて実現します

明科地区の築堤の要望を伺う

小川村での災害の被害を聞き取り

ウクライナ大使コルスンスキー氏を松本に迎える

ウエストン祭で挨拶

すいかの選果機の竣工式で

豊野地区で国政報告会を開催

松本駅前でウクライナ支援の募金を実施

上高地の落石現場を視察

環境省主催の脱炭素セミナー

安曇野市内の黒沢川貯水池を視察

鬼無里地区の豪雨災害視察

国道19号小松原地区の全面通行が早期実現

## 【発行数330号】メルマガで様々なメッセージを発信中

最新号はこちら むたい俊介HPメールマガジン

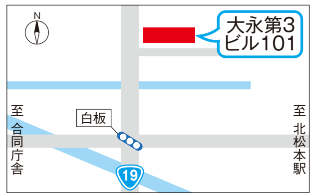
メルマガの申し込みは office@mutai-shunsuke.jp まで

**あなたの声をお聞かせください。政策や日本の将来を語り合いましょう。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!**

【自由民主党長野県第二選挙区支部】
住所:長野県松本市白板2-3-30 大永第3ビル101
TEL:0263-33-0518 FAX:0263-33-0519
mail:office@mutai-shunsuke.jp

【国会事務所】衆議院第一議員会館403室
住所:東京都千代田区永田町2-2-1
TEL:03-3508-7334 FAX:03-3508-3334

■自由民主党長野県第二選挙区支部




Copyright© 2022 Mutai Shunsuke All Rights Reserved.

衆議院議員

前 環境副大臣 兼 内閣府副大臣

# むたい俊介ニュース

(務台 しゅん すけ)

## 山・里・人を元気に！

2022年秋号 No.31

## 環境副大臣 兼 内閣府副大臣として

### 水素列車を視察

環境対策が様々な技術的進歩とともに広がっています。水素列車が大糸線に導入されることを夢見ています。

水素列車HYBARIを見学

### 国連海洋会議で発言

海洋汚染についての国際会議がポルトガルで開催され、政府を代表し参加しました。国際問題での日本の貢献がもっと理解されることを望みます。

リスボンで開かれた国連海洋会議に出席

### 原子力防災担当

原発災害が起きた時どんな体制であたるか、国民の命を預かる大変な重責を感じました。

原子力総合防災訓練で現地本部長を務める

## ごあいさつ

昨年の10月より拝命した、環境副大臣兼内閣府副大臣を退任いたしました。地域脱炭素、原子力災害対応、など様々な課題を現地視察で直接確かめた上で前に進めてきました。心より感謝申し上げます。また、参議院議員選挙では、多くの皆様にお力をいただいたものの、大変不甲斐ない結果となりましたことをお詫び申し上げ、県内の自民党の立て直しを図って参ります。安倍元総理が凶弾に斃れました。白馬村、長野市といち早く災害対応に駆け付けてくださいました。ご冥福を祈り、遺志を継いで今後とも邁進してまいります。

衆議院議員 務台 俊介

環境副大臣としてオーストラリア環境大臣と会談

日々の活動をwebで公開中

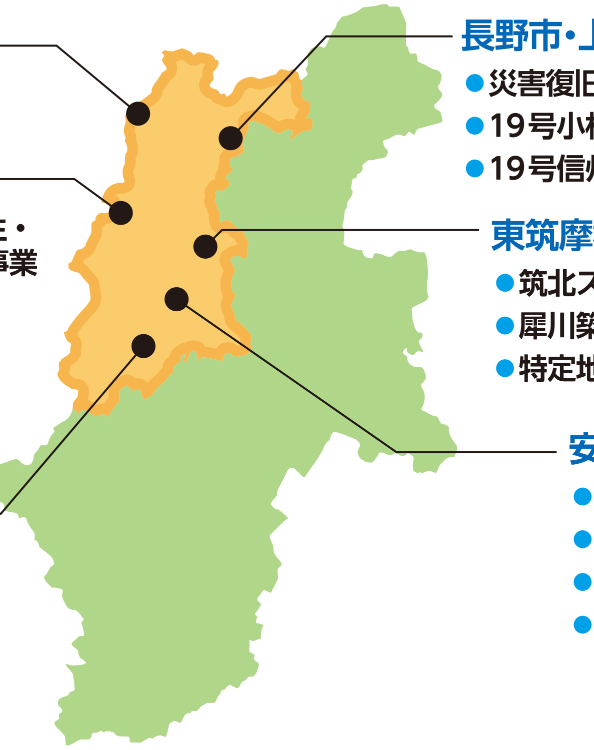
ホームページ www.mutai-shunsuke.jp

公式Twitter @mutaishunsuke

facebook https://www.facebook.com/mutai.shunsuke

YouTube QRコードからアクセス または YouTube むたい俊介 で検索 チャンネル登録 をクリック!
＊要アカウント作成

# 各地域で国の予算が形になっています！



**北安曇郡**
- 砂防事業促進
- 松糸道路

**大町市**
- 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
- 大町ダム再編事業
- 砂防事業促進
- 松糸道路

**松本市**
- 国道158号奈川渡改良
- 脱炭素先行地域認定
- 国道19号拡幅
- 梓川災害復旧対策
- 中部縦貫道

**長野市・上水内郡**
- 災害復旧対策（小川村・戸隠・鬼無里）
- 19号小松原地区復旧工事
- 19号信州新町地区復旧工事

**東筑摩郡**
- 筑北スマートインター設置
- 犀川築堤（生坂村）
- 特定地域づくり協同組合発足

**安曇野市**
- 黒沢川貯水池（三郷地区）
- 犀川築堤（明科地区）
- 松糸道路安曇野道路着工
- 国道19号拡幅（明科地区）

## 現在までの主な役職を紹介します（2022年10月 現在）

**［衆議院］**
- 環境委員会　理事

**［党役職（自由民主党）］**
- 環境部会長代理
- 憲法改正推進本部　幹事
- 国際局　次長
- 広報本部広報戦略局　次長
- 過疎対策特別委員会　事務局長
  過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（新過疎法）を成立R3）
- 雇用問題調査会　幹事
- 子どもの元気!農山漁村で育むPT　事務局長
- 環境・温暖化対策調査会　事務局長代理

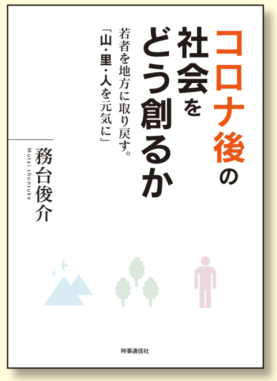
- 中央政治大学院　副学院長

**［その他］**
- 長野縣護國神社　総代会長
- 一般財団法人全国山の日協議会　副会長・理事

**［議員連盟］**
- 超党派「山の日」議員連盟　事務局長
  国民の祝日「山の日」の制定法案を成立（H26）
- 自由民主党水道事業促進議員連盟　事務局長
- 自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟　事務局長

- 最低賃金一元化推進議員連盟　事務局長
- 茅葺き文化伝承議員連盟　事務局長
- 森のようちえん振興議員連盟　事務局長
- 自由民主党ウィンタースポーツ&リゾーツ議員連盟　事務局長代理

- 自転車活用推進議員連盟　事務局次長兼自転車活用PT座長代理
  自転車活用推進法を成立（H28）
- 人口急減地域対策議員連盟　事務局次長
  特定地域づくり事業法案成立（R1）
- 捕獲鳥獣食肉利活用推進議員連盟（ジビエ議連）　事務局次長
- 自由民主党消防議員連盟　事務局次長
  消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律を成立（H25）
- 自由民主党再生可能エネルギー普及拡大議員連盟　副幹事長
- ワーケーション推進議員連盟副幹事長
- 日本建設職人社会振興議連
  建設工事従事者安全確保法成立（H28）




### 新刊本を出版しました

代議士生活10周年の節目に、これまでの政治活動を振り返り「アフター・コロナ」の新しい社会の在り方を見据えた、政策実現の土台となる思いを綴りました。ぜひご覧ください。

（時事通信社より出版）

### むたい俊介プロフィール

| | |
|---|---|
| 昭和31年 | （1956年）安曇野市（旧三郷村）生まれ、大町市・旧豊科町で育つ　豊科中学・松本深志高校卒業 |
| 昭和55年 | 東京大学法学部卒業後、旧自治省入省、地方分権推進委員会参事官、総務省消防庁防災課長、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任 |
| 平成21年 | 衆議院議員選挙に初挑戦 |
| 平成22年 | 神奈川大学法学部自治行政学科教授を務める |
| 平成24年 | 第46回衆議院議員選挙で長野県第二区にて初当選 |
| 平成28年 | 8月から平成29年3月 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 |
| 令和3年 | 第49回衆議院議員選挙で4回目の当選 |
| 令和3年10月から令和4年8月 | 環境副大臣 兼 内閣府副大臣 |

## *Message* メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長
衆議院議員　務台　俊介

# 岸田内閣の副大臣を経験して

▲脱炭素地域の認定証の交付

2021年10月6日から2022年8月12日までの10か月余りの期間、岸田内閣で環境副大臣、内閣府原子力防災担当副大臣を務めさせて頂きました。この間、副大臣としての職責を全うするに際し、お支え頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

環境副大臣としては、地球温暖化対策、再エネ推進、循環型社会実現への対応、廃棄物対策、原発事故汚染土壌の除染・中間貯蔵対応、海洋プラスチック対策、熱中症対応などの所管事項を担い、政策を前に進める努力をしてまいりました。脱炭素対応に関しては、全国の47都道府県すべてを政務三役で手分け行脚する提案を行い、土日中心に半年をかけやり遂げました。環境省の政策の方向性を全国に知ってもらうとともに、各地の取り組みを直接伺う機会となり、大いに得るところがありました。特に感じたことは、これからの環境政策は地域の振興に直結していくということです。再エネによる脱炭素政策は、確実に地域社会の資源の掘り起こしにつながります。その観点で環境政策を位置づける必要性を感じています。また6月にリスボンで開催の国連海洋会議に政府代表として出席させて頂き、海洋プラスチック問題に関して発言をさせて頂けたことは得難い機会でした。

内閣府原子力防災担当副大臣としては、原発事故が起こらないようにする対策や万が一の原発事故の際の避難誘導の万全を図るための対応を担いました。女川原発の原子力防災訓練では、現地対策本部長として訓練に参加させて頂きました。現場の空気感を得るために全国の原発、原発関連施設立地地域を順に訪問し、玄海原発、女川原発、伊方原発、浜岡原発、東海第二原発、HTTR（高温工学試験研究炉）、青森県六ケ所村の核燃料サイクル施設の7施設を訪問しました。

環境副大臣、内閣府副大臣としての私の担務は、いずれも、我が国や世界の将来の社会の在り方に関わる極めて重い課題であり、その都度真剣に取り組んできたつもりです。これからも、得られた知見を生かして、政治的立場からしっかりと政策の前進を図っていきたいと考えています。

副大臣を経験して思ったことは、役所における政治家の役割は非常に大きいということです。政策の大小にかかわらず、決めるのは政治です。役所は選択肢を準備しますが、それが不十分であると政治家が判断するとそれ以外の選択肢の検討を要請します。役所からそれが上がってこないと外からのアイデアを求めます。私自身も、副大臣として自民党での議論や直接民間の方や学者から得た知見を役所に持ち込み、検討を依頼して政策に結び付けることが少なからずありました。

出張を組む場合には、その手配、準備のために役所が周到な準備で臨むことも目のあたりにしました。国際会議、国内の視察や会合のセットも周到な準備を行って頂き、省庁の皆様のご努力には敬意を表します。

政策に関連するテーマで、様々なセミナーや意見交換会に出席できたことも得難い経験になっています。経済界や研究者との意見交換会で最新の知見に触れることは、自分自身を成長させる機会ともなりました。霞が関は日本最大のシンクタンクと言われてきましたが、各省庁がそれぞれの行政分野で様々な情報を集め政策を作る過程は、やはり素晴らしいものだと実感します。政治家は、その機能を高めるように、そしてそれが独善に陥らないように、政策が正しい方向に向くように誘わなければなりません。

代議士として国会に送り出して頂き、これまで政府の中で政務官、副大臣という立場を与えて頂いてきましたが、そこで得られた経験知見を自らの中で咀嚼し、国民生活がより良くなるようにさらに努力していかなければならないと決意している所存です。